

えっ!

私たちの生活 あたりまえじゃなくなるの?!

みなさん、国民健康保険をご存知ですか？日本の国民健康保険は1961年に、国民一人一人が入る制度としてスタートしました。社会保険加入を除き、自営業や農業など無保険となっていた人を対象に、保険料の半分は国が負担していました。しかし現在では医療費として保険から支払われたうちの半分以上を国が負担するにとどまっています。一方、イギリスやスウェーデンでは医療費は無料、それは「医療が社会保障である」という考え方によるものです。

年々国民の医療費負担が上がっていく日本。2018年には国民健康保険が現在の市町村単位から、県単位に変わります。それによって私たちの医療はどうなるのでしょうか？



Q.子どもの医療費って何で無料なの？

A. 社会保険も国民健康保険も保険者（けんぽ協会健康保険組合など）が、70%を、残りの30%は市や町が負担しています。したがって、自治体によって無料の年齢の差があります。ただし、保険料が支払えず保護者が無保険の方は、子どもも医療が有料となります。



Q.何で保険料が上がっても、窓口負担も上がってしまうの？

A. 国が社会保障として医療にかかわる十分な財源を確保していないこと、医療が高額化（薬価が高い、治療に必要な精密な検査）しています。予防医療も進んでおらず、医療費40兆円の6割が国庫負担です。



Q.国民健康保険って何？

A. 国民の命を守ることが医療の役割です。その医療を保険という契約で、あらかじめ保険料を払うことで病院の窓口で自分が負担する部分が3割になるという仕組みになっています。そのため保険料を払えない人は医療という社会保障が受けられない状態になります。



回答者
杉崎 伊津子
元社会保険庁職員 北医療生協監事

Q.これからどうなっちゃうの？

A. 国民健康保険は県単位の制度になります。そのため、自治体ごとのきめ細かい減免制度を維持することが厳しくなります。国庫負担金の削減政策で憲法に保障された健康権がますます形骸化されます。9月に法案が通った安全保障法制（戦争法）もこれまで以上に防衛費に国のお金が使われることが考えられます。そのため、お金などの心配なく医療を受けられるそういった状況から遠ざかることにもつながり、戦争法によって私たちの生活に大きく影響される状況となるのです。

